

1. 事業の位置付け

事務事業名	交差点改良事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
予算科目	01-080203-040000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者		事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
右折帯を創ることにより、交通渋滞の緩和が図られ、騒音などが低減され、市民が快適に暮らしています。		交通渋滞の解消や事故の防止を防ぐため、車両がスムーズに交差点を通過できるよう右折帯を設置します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交差点改良指数						単位	—
	説明・算定式	交差点改良の進行状態を以下のような指数とする。測量調査委託（10）、用地買収（40）、改良工事（50）							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			50	10	50			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	3箇年の交差点改良進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19年度：交差点改良工事45%、H20年度：用地測量10%、H21年度：用地買収45%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			45	55	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
真土・金目線（西沖田交差点）の改良工事を行うことにより、交通渋滞の緩和が図られた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	交差点を改良し右折帯を設置することは、交通渋滞の解消や事故防止のため、必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	右折帯を設置することにより、交通の利便性を図り、生活環境の有効性を高めることが必要。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民生活に欠かせない道路整備であり、安全で快適な生活環境の確保が必要。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	道路整備のコスト削減に取り組む。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 警察等と協議を行ない、改良が必要な交差点の優先順位を定める。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				交差点改良工事	用地測量	用地買収・測量		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	47,932	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	32,174	32,200	42,718	0	0
事業費 (A)		0	0	32,174	32,200	90,650	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	103.79				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.45	0.80	0.80	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	3,776	6,713	6,713	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	35,950	38,913	97,363	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 交通の円滑化のため、交差点に右折帯を設置する。	
平成21年度 of 取組方針	
継続事業を優先するとともに、危険箇所など緊急性を要する交差点の整備を行なう。	
課長コメント	交差点を改良し右折帯を設置することは、渋滞解消等の効果が期待されるため、市としても積極的に事業を進めていきたい。